

2015年(平成27年)

10/3 (土)

Saturday

熊本日日新聞

kumanichi.com

熊日の美術公募展「くまもと『描く力』」(特別協力・崇城大)の作品受け付けが3日、熊本市中央区世安町の熊日本社などで始まった。4日午後4時半まで。

熊日が昨年から新たにスタートした公募展で、県内に居住経験のある人を対象にした「グランプリ部門」と「ふるさと部門」、九州沖縄の高校生が対象の「チャレンジ部門」で未発表の平面作品を募る。

いち早く受け付けを済ませた水彩画家の宮中千秋さん(81)＝同市東区＝は「ずっと温めていた牛の群れを初めて作品にした。公募展に挑戦するのは勉強になり、若さにもつながる」。チャレンジ

温めた力作 次々と

くまもと「描く力」受け付け開始

部門受け付けの崇城大芸術学部硯川実習棟(同市北区)にも作品が持ち込まれた。

審査員は、グランプリ、ふるさと2部門が潮江宏三(美術史家・京都市美術館長)、山下裕二(美術史家・評論家)、桜井武(熊本市現代美術館長の3氏。チャレンジ部門は村上哲(県立美術館学芸課長)、松木良介(グラフィックデザイナー)の2氏と桜井氏。

審査は10日(チャレンジ部門は11日)。グランプリ部門 最高賞の熊日大賞など、入賞・入選を決める。作品展は11月25日～12月6日、同市中央区の県立美術館分館で。

(小野由起子)